

人に優しい福祉機器の開発
(事後評価)

質問・意見

回答

| | | |
|-----|---|---|
| E委員 | ヒーリングシャワーについてセンターとしてはどのように関わったのですか？ | もともとはシャワーベットという介護入浴装置があって、企業訪問をした際に依頼され、装置に入浴した人の血流値や体の表面温度などについて測定し、既存の装置との違いや効果について測定したという経緯があります。ヒーリングシャワーはその応用ということになり、特に、評価の点で関わりました。他にも脳波やマイナスイオンの効果についても測定を試みましたが、技術的な問題からそれらの測定は断念しました。 |
| F委員 | 段差乗り越え車イス、転倒防止歩行器が実際商品化まで至っていない理由はどこにあるのですか？ | 車イスについてはメーカーが県内にないので商品化まで至りにくいというのが主な理由です。歩行器については機構的に試作した歩行器は常時使用する人を主な対象にしています。しかし、実際に福祉施設に問い合わせたところ、常時歩行器に頼り切る人はほとんどいないということで、実態に即していなかったというのが理由であると思われます。 |
| G委員 | 木製車いすの生産台数目標が年5台ということでしたが、福祉の展示会でもよく見かけますし需要がもっとあると思うのですが？ | この車いすのコンセプトは室内で違和感なく、家族と一緒に利用してもらうということです。現在の生産台数が少ない理由は業者のPR不足が挙げられます。性能に関してはJIS規格も満たしておりますので、そのような部分でPRしていければと考えています。目標台数は業者で検討中とのことです。 |
| | 市販の木製車いすは現在の実数はどの程度ですか？ | 実数については把握しておりません。 センターで製品を展示しており、是非欲しいという声も聞かれます。ただメーカーで製造が十分に行われていない部分もありますので、そこはメーカーが力を入れれば市場開拓できるのではと思います。 (所長):この車イスは売り方の問題も多分にありますので、メリットをもっとPRしていけば良いのではと思っています。 |
| F委員 | 県の介護センターなどの設備で導入されているのですか？ | 現在、公共施設では入っていないようです。 |
| | 製品が良い物であるならば、県で買い上げて利用するなどし、よさを理解してもらえようバックアップの体制を取るべきだと思います。 | (補足)既に学校向けにカタログを作成して教育長あてにPRしています。さらに一般向けにもセンター成果品リストを作成してPRしていく予定です。 |
| C委員 | 家庭で利用してもらうことを考えると、保管場所の問題などを考慮して、折りたたみ式などにしても良かったのではないのでしょうか。車イスは使う人の環境によって形態もかわってきますから、なかなか普及型という形をつくるのも難しいと思います。その中で木製車イスに着目した点に関しては評価できると思います。 | (補足)木製車いすを製作するに当たって、JIS強度試験を行っている技術研究所との相談から、強度的に無理があると指摘され、折りたたみ構造は取り入れませんでした。 |
| | CNCパイプベンダーを配管等に使用したいと思いましたが、部品がないので利用できないという実情があります。今後、機器の貸付や技術相談などに対応していただけるのでしょうか？ | 他の企業にも利用して頂いておりますが、現在は用途がどうしても限られていて、企業ニーズに対応し切れていない面は確かにあります。 (所長):せっかくなので導入した機器ですので、広く応用して利用頂けるよう検討したいと思います。 |